

飯山市総合計画等評価検証委員会 意見交換シート

当日の委員会では、限られた時間を有効に活用し、特に「指標の実績値」と「実態」にギャップのある事項について意見交換いただくため、あらかじめ 3 つの内容を設定いたしました。

事前に背景や現状をご覧ください、当日は活発なご意見やアイデアをいただけますと幸いです。

①移住定住施策の実績と人口減少のギャップについて【資料1:P27、資料4:P2】

現 状	移住定住施策に関する指標 9 つのうち、6 つの指標が「◎」となっており、空き家バンクの新規登録や定住支援事業を活用した定住者数などは順調に推移しています。 一方で、人口減少は続いており、特に 20～30 代前半の若い世代の転出が目立っています。転出者アンケートの結果では、20～30 代の 42.9%が「就職・転職」を理由に転出していることが分かっています。 また、飯山市に移住(転入)される方も 20～30 代の割合が多く、「市外の方からは選ばれているが、地元の若い世代からは選ばれていない」という課題があります。
内 容	飯山市で生まれ育った若者に選ばれ、若者が飯山で学び、働き、結婚し、暮らし続けられる就業・雇用・住環境等の整備のための施策及び若い世代の転出抑制のための施策について。

②子育て支援施策の実績と現場実態・出生率とのギャップについて【資料1:P37・39】

現 状	保育園や各種子育て支援に関する指標の多くが「◎」となっており、ハード面や制度としての支援数は充実してきています。 待機児童の実績値は0人である一方で、保育現場では保育士の不足により、途中入園や転入時に第 1 希望の保育園に入れにくいケースが生じています。また、合計特殊出生率も目標に達していない現状があります。
内 容	「安心して子どもを産み、育て続けられる実感」や「出生率の向上」という本質的な課題解決につながり、「もう一人子どもを望める環境」を作るための施策について。

③高い評価を得る「雪対策」と「雪を理由にする転出」とのギャップについて【資料 1:P133】

現 状	雪対策に関連する指標はほぼ「◎」であり、道路除雪や雪かき支援員を中心とした市の雪対策について、転出者アンケートでも「良い」が 64.4%、「普通」が 33.0%、「良くない」が 2.6%と、市民から非常に高い評価を受けています。 一方で、住宅の新築・アパートの借り換え・住環境を理由に転出される方のうち、約 4 人に 1 人が「雪の負担(雪下ろしや除雪等)」を理由に市外へ転出している現状があります。
内 容	「市が行う雪対策」には高い評価を受けている一方、個人の住宅敷地内や生活空間における「雪の負担」が、若い世代や子育て世帯の定住における大きなハードルになっている懸念があります。このことから、「若い世代の雪にかかる物理的・経済的・精神的な負担を軽減し、暮らしやすい飯山市」を作るための施策について。

④その他の施策について、ご意見等